

海外生活 レポート 46



ラベンダー香る農園にて、板橋恭子さん(左)とお嬢さん

板橋恭子さん
イギリス パッキンガムシャー在住

2021コロナと共存するイギリスの夏 やすらぎを求めて農園がブームに



近くの農園「コパスファーム」入口



延々と続く広大なイチゴ畑

INFORMATION



英国

面積 243,000km²
人口 約6,680万人
首都 ロンドン
公用語 英語

7月下旬からロックダウンが全面解除となり、かつての生活が戻りつつあるイギリス。とはいえ、感染者が減少しているわけではなく、政府は新型コロナウイルスと共存しつつ、経済を優先させるもくろみです。いまだ油断のできない状況下、今年の夏はイギリス国内で過ごす人がほとんどでしたが、できる限り屋外で楽しく夏を過ごしたいという思いはみんな同じです。

旬を摘みに近くの農園へ

そこで、よく晴れた夏の日、我が家から車で10分ほどの所にある農園に旬の野菜とフルーツを収穫に行きました。

イギリスでは農園で野菜やフルーツを自分で収穫することを「Pick Your Own」と言います。5月のアスパラガスを皮切りに、イチゴをはじめとするベリー類、さくらんぼ、プラム、そら豆、さやいんげん、ほうれん草、かぶ、グリーンピース、ズッキーニ、とうもろこし等、10月下旬のリンゴまで、旬の採れたての野菜とフルーツを思う存分楽しめます。

ピクニック気分で過ごす 至福の一日

まず農園の入口で、その日に採れる旬のものと価格をチェックし、入場料(1人約600円)を払って畑へGO!紙製のカゴを手に、青空の下、広大な敷地を巡りながら、それぞれが好きなものを好きなだけ収穫できるのは農園ならではの。

THE FRUIT FIELDS • IVER •	
ASPARAGUS	
COUSCOURSES	
STRAWBERRIES	
BROAD BEANS	
RASPBERRIES	
CHERRIES	
CURRENTS	
RUNNER BEANS	
PLUMS	
SWEETCORN	
APPLES	
BEETROOT	
GOURGETTES	
FRENCH BEANS	
PEAS ON THE POD	

入口で何が最盛期かチェック!



この日の収穫

な一つ採って味見をした後、甘くて美味しいものを選びます。

家族連れはピクニックを兼ねて、子どもはもちろんお年寄りも、のんびりとお散歩をしながら日がな一日、農園ライフを楽しみます。中にはイチゴやラズベリーをカゴに山ほど収穫し、「家でジャムを作るのが毎年のお楽しみ」というかたも。

最後に収穫した物の重さを測って料金を払います。両手に持ち切れないほどたくさんの野菜とフルーツでもすべて合わせて2,000円でお釣りがくるくらい。おもわず笑顔がこぼれます。

収穫後の楽しみは、 イギリス名物の イチゴのデザート

イギリスの夏の風物詩の中に、旬の甘いイチゴを使ったデザート「Eton Mess イートン・メス」があります。

「イートン」とは英王室のウィリアム王子や現首相のボリス・ジョンソンなど、各界の著名人を多数輩出している名門パブリックスクール「イートン・カレッジ」を指し、イートン校でスポーツの試合の後に、このデザートが配られていたことからその名がつけられました。

「メス」とは、ぐちゃぐちゃに混ぜる、という意味で、イチゴと生クリームとメレンゲを混ぜ合わせたシンプルなデザートです。毎年6月に行われるウィンブルドンテニス選手権では、開催中の2週間に約27トンのイチゴと7トンの生クリームが消費されるそうです。まさにイチゴはイギリスの夏には欠かせないものなのです。

収穫したベリー類で自家製「イートン・メス」

